

様々な支援制度があります



(掲載は一例です)

①個人向け

- 1人10万円 特別定額給付金
- 住居確保給付金 (家賃補助)
- 緊急小口資金、総合支援資金
- 国民健康保険料の減額・免除、分納など
- 住民税の納付猶予・分納など
- 公共料金の支払猶予など
- 就学援助世帯への昼食費補助
- 大学等の授業料の減免

②事業者向け

- 家賃支援給付金
(7月中旬から申請開始予定、6か月分給付、上限あり)
- 持続化給付金
(個人事業主：上限100万円、法人：上限200万円)
- 雇用調整助成金
- 東京都感染拡大防止協力金 (2回目のメ切は7月17日)
- 特例貸付 (無利子)
- 法人税、消費税の納税猶予

制度の詳細についての、ご相談も受け付けています。

どうかお一人で悩まず、まずご連絡下さい(表面に連絡先を記載しています。私のホームページにも相談フォームがあります。ご活用下さい)。



▲相談フォーム

1人10万円の特別定額給付金 申請はお済みですか？

8月18日が
メ切です

中野区内では申請と給付が5月中に開始されました。7月3日現在、全世帯(約21万世帯)の90%程の方の申請を受け付け、そのうちの約90%の方への給付が概ね完了しました。申請の期限は8月18日(火)です。申請の際には、①本人確認書類および②振込先口座確認書類の2つの書類の写しが必要です。申請がお済みでない方は、必要書類の添付と申請期限にご注意下さい。



改善と提案

申請を受け付けした中で、不備書類が約1割となりました。主には、必要事項の記入漏れと申請に必要な2つの添付書類(本人確認と口座確認の書類)の不足によるものです。しかし、その理由には、申請書内で誤解を生む表現や丁寧な説明が不足していたことにあります。

行政が区民の方々に出す文書は、いかにわかりやすくシンプルにするかがとても重要です。今後は、今回の教訓を踏まえた改善をと提案しました。また、お一人暮らしの方、障害者、高齢者などで、申請になんらかの支援が必要な方への援助を提案し、改善していく旨の答弁がありました。



浦野さとみ プロフィール

1980年千葉県松戸市生まれ(39才)。2003年3月、千葉医療福祉専門学校・作業療法学科卒。同年4月、作業療法士として中野共立病院・リハビリ室入職。2008年リハビリ室主任。2011年3月、8年間勤めた病院を退職し、中野区議会議員選挙立候補、初当選。現在、3期目(総務委員会、地域包括ケア推進調査特別委員会に所属)。趣味:竹富島への旅行、ゆずのライブへ行くこと、ソフトボール・野球。



地域のこと、身近なお困りごとなど、お気軽にご相談下さい。

弁護士をはじめ、各専門家などと連携しながら、解決に力を尽くします。

(弁護士による無料法律相談も実施中です)

